

テーマ

「住み続けられるまちづくり ～廃棄物処理とSDGsのローカライズの現状～」



プログラム

2018年11月28日(水)

時 間	内 容	備 考
14:00-14:10	開催挨拶	国連ハビタット福岡本部長 西日本新聞社取締役
14:10-15:45	各国記者からの廃棄物に関する発表	
15:45-16:05	休憩	
16:05-16:45	パネルディスカッション	司会:ラース・ストーダル (国連ハビタット)
16:45-17:00	まとめ	

招へいジャーナリスト



万 里新 (ワン・リシン) 氏
(中国・上海日報紙)
上海日報で、急速な成長に伴う、環境問題、都市化の弊害、社会や文化の衰退等広い分野で記事を執筆。



李 鍾洛 (リ・ジョンラク) 氏
(韓国・ソウル新聞)
2010年から2013年まで東京特派員を務め、その後国際関係・産業・政治など幅広い分野を扱う。論説委員。



アジャイ・ラドハクリシュナン氏
(インド・Mint紙)
Mint紙で都市関連及び情報関連を担当する記者。以前はインドのHindu紙で調査関係の記者を務める。



ファイシソン・チャンダラ氏
(ラオス・The Vientiane Times紙)
2004年から、感染症や水に関する記事を多く書き、現在は水に加えて衛生問題、教育、輸送等の記事を扱う。



アルヤ・マルティアル氏
(インドネシア・Kompas紙)
教育機関等で勤務後 Kompas 紙に入社し、経済関係の部署で勤務し、インフラや公共住宅関係のニュースを取扱う。



ジャグディッシュ・カレル氏
(ネパール・Image Channel)
社会・経済・政治問題等を扱うネパールでの人気番組のプロデューサー兼報道記者。報道により政策策定に寄与する。



藤崎 真二 (ふじさき しんじ)
(日本・西日本新聞紙)
西日本新聞入社後、長崎総局、宮崎総局などを経て2014年から生活特報部で環境・食を担当。本年8月より同部長。



ラース・ストーダル 司会
(国連ハビタット福岡本部)
リージョナル・パートナーシップ・オフィサーとして勤務し、World Urban Forumに関する業務等を主務とする。